

インディアカ

【インディアカについて】

インディアカとは、羽根のついた特殊なボール『インディアカボール』を手で打ち合うバレーボールタイプにニュースポーツです。ボールについている羽根は小さいボールの滞空時間を長引かせるためと、ボールを狙った方向にまっすぐとばすための両面の作用があります。したがって、ボールをゆっくりとばすことも、速くとばすこともできます。直接手で打つのでよりコントロールしやすいという特徴もあります。ボールを扱うことに不慣れな人でも扱いやすいのがインディアカの特徴です。

【用具】※総数

1セット内容

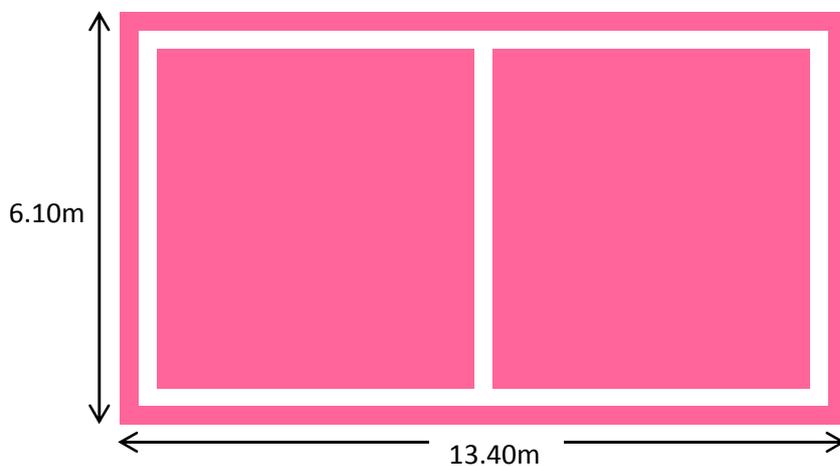
貸出総数 4セット

インディアカボール×4 インディアカボール×1

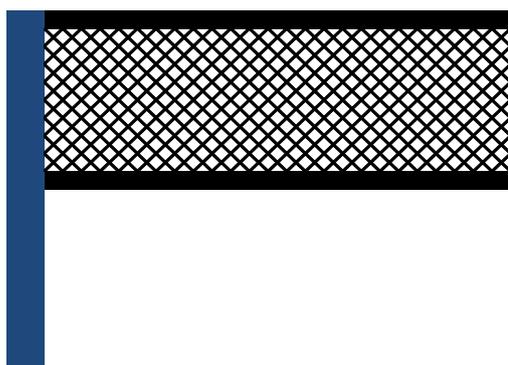


【詳細】

○コートセッティング



バドミントンコートと同サイズです。



ネット高さ

シニア女子：1.85m

シニア男子：2.00m

男女混合：2.15m

<ルール>

【ゲーム形式について】

○対戦形式

チーム戦（1チーム8名とし、コート内競技者は4名とする。）

【ゲームの進め方について】

○サーブ権を決める。

○1セット21点先取で勝ちとなり、3セット行う。

○得点はラリーポイント制で行う。

○相手コートに打ち返すための打球許容は3回までとする。

○ただし、ブロックはこの数に数えない。

【サーブについて】

○サーブはアンダーハンドで行う。

○サーブは1回までとする。ネットインは認められない。

○相手が得点するまで同じものがサーブを行う。

【その他の反則】

○インプレー中、競技者はセンターラインを越えてはならない。

○同じものが続けてボールに触れてはならない。ただし、ブロックは除く。

○アタック・ブロックでネットに触れた場合は反則となる。

○相手コートにあるボールに触れてはならない。

○アタックの際に手がネットを越えても反則にならない。